



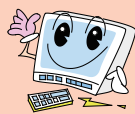
## スタッフのつぶやき

はじめまして。システム開発部に中途入社をいたしました小野と申します。

出身は熊本県で、結婚を機に（令和4年4月）京都へまいりました。修学旅行以来の京都でしたが、子供のころにはまだわからなかった京都の良さを日々感じながら生活をしており、“万願寺とうがらし”のおいしさに感動して、家庭菜園で育て食べております。もっともっと京都を知りたい！と思っておりますので、ぜひおすすめ等教えてください。

趣味は、“飼育”と“手芸”で、自宅にはリクガメ5匹、フトアゴヒゲトカゲ、ヒョウモントカゲモドキ、オカヤドカリ10匹、スポテッドガー、ロングノーズガー、そのほか海水魚、淡水魚など様々な生き物と暮らしており、お世話をして彼らを眺めている時間一番の癒しです。

私はサポート等を担当しますので皆様にお目にかかる機会があるかと思えます。少しでもお役に立てますよう日々学んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。  
（システム開発部 小野 かなえ）



## IT雑情報 【テキストカーソルインジケータ】

このコーナーではITに関わるいろいろな情報をお届けします。

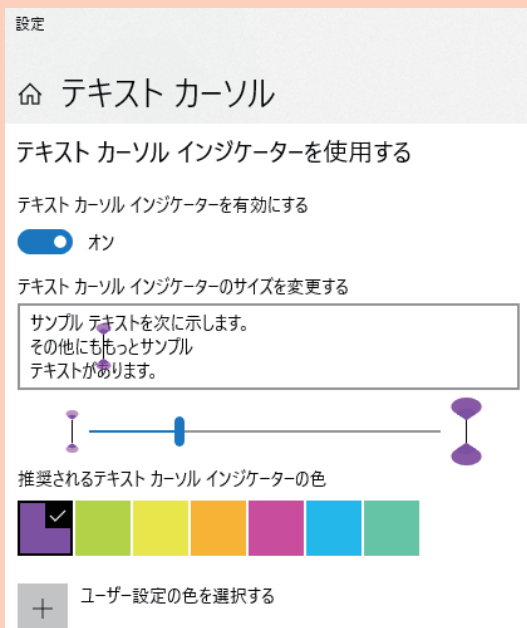
パソコンにて文字や数字入力や訂正を行う際、カーソルが細くて見にくいと思ったことはありませんか。今回はカーソルを見やすくするちょっと便利なテキストカーソルインジケータをご紹介します。

カーソルインジケータを使うとカーソルがこんな風になります。



設定方法は、まずタスクバーの検索入力（ ）にて

“カーソル”と検索をすると設定画面が表示されます。



7,700	7,000	700
4,400	4,000	400
7,150	650	650
6,600	7,680	768
11,748	12,240	1,224
5,025	3,010	301

（例）いつもお世話になっております。

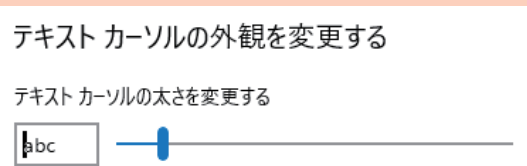


テキストカーソルインジケータを“オン”にして、サイズと色を選ぶと、設定完了です。おすすめの色以外にもお好きな色が設定できるので、ぜひお試しください。

ワードやエクセル、インターネットの検索の際にも反映されます。

（一部対応していないアプリケーションがあります）

また、その下の「テキストカーソルの外観を変更する」のところで、テキストカーソルの太さを変えることも出来ます。



## TOPICS

### 引き続き“インボイス制度とIT導入補助金の説明会”を開催します

開催日程

2022年11月10日（木） 14:00～16:00

2022年11月21日（月） 14:00～16:00

参加申込

以下の申込フォームからお申込下さい。

<https://www.sysport.co.jp/2022seminar/>

会場

京都経済センター 4-C

京都市下京区函谷鉾町78番地（地下鉄丸線「四条駅」すぐ）

Presented by Sys:port corp.

# 読者 訪問



第154回

お伺いした会社 株式会社タイトウトレーディング  
お話を伺った方 営業部 部長代理 山口 悟 様、課長代理 奥村 飛雄馬 様  
会社の所在地 〒525-0043 滋賀県草津市馬場町 1200 番地 20  
連絡先など TEL 077-574-8031 FAX 077-574-8071  
事業内容 各種自動装置の OEM/ODM、各種機械加工品の販売等  
ホームページ <https://www.taitoh.com/>

今回は滋賀県草津市にある(株)タイトウトレーディング様にお伺いしました。同社の山口部長代理と弊社の岡とが、お互いに前職時代に取引関係があって親しくさせていただいていた関係で、2019 年秋に山口部長代理から HP の制作について岡にご相談がありました。いくつかのご要望をお聞きし、お応えできる方法として(有)エス・ビー・シーにてお引き受けできるのではないかとご提案して HP 制作をさせていただきました。

(有)エス・ビー・シーは、(有)中小企業診断所という社名でコンサルティング会社として 2001 年に設立した会社です。廣井 (旧姓米田) 真衣子が参画し、Web 制作や Web コンサルティング事業に注力してきたことから、2019 年に現社名に変更し Web 関連事業を中心に展開しています。現在、当社にいただいた HP 絡みの商談は、(有)エス・ビー・シーと連携して対応させていただいております。



奥村課長代理、山口部長代理

(株)タイトウトレーディングは中国上海で中国資本を入れずに設立した泰東機械有限公司という機械製造会社の日本におけるメンテナンス会社として設立されました。

海外では日本製の部品を使って製品を作りたいというニーズが高いのだそうで、日本から部品を輸出して中国で製品を作り、その製品を日本で売ったときのメンテ会社としてスタートしました。

メンテナンスを中心に事業を展開してこられたのですが、得意先からコンベアを作ってみないかといわれ、アルミフレームを組むことから始めて、機械製造 (主にはシャフトやコンベア) の製造を手掛けるようになったそうです。そして、現在地に移転してから、搬送装置、自動装置、アルミフレームなど、設計から一貫して製造ができるようになったそうです。

営業展開をしていく上でも HP が必要だったのですが、当初作った HP は中国にサーバーがあって速度が遅く、いろいろ問題もあってサーバーを日本に移すことになりました。それを機にコンテンツも刷新することになったのですが、2019 年末までになんとかしろという命が下り、急遽、弊社にご相談いただきました。

その意を受けて(有)エス・ビー・シーで鋭意制作しリニューアルしました。その結果、HP からの問い合わせが増えてきたということで大変嬉しく思っています。速度の問題が解決したのが大きかったのではないかとおっしゃっていました。

また、今年、Web カタログを掲載しました。サポートの HP でも採用している“めくれるカタログ”にしたいということで対応させていただきました。(https://www.taitoh.com/book/index.html)

『当社は突出した製品が作れるわけではないが、中国とのパイプの太さや強さを武器に、中国との直取引の不安を解消し、そのメリットを享受してもらおうという、他の商社とは違う商流で強みを発揮していきたい』とおっしゃっていました。人間力で勝負していつかタイトウカラーを作っていきたいとおっしゃっておられ、これからのますますの飛躍を期待したいと思います。(米田)



自動化装置部品



## “一丁啮”が行く！ 第165回：振込手数料

来年 10 月から消費税のインボイス制度が始まります。まだまだ周知されていない面もあり、弊社では「インボイス制度と IT 導入補助金の説明会」を定期的に開催しています。

インボイス制度が始まるといろいろと変えなければいけないことが出てきますが、そのひとつに振込手数料の控除があります。

企業同士の取引の場合、振込支払時に振込手数料を控除して支払うという商習慣があります。これは、もともと売掛代金を回収するのに集金に行っていたのを銀行振込にしてもらうに際して、「行く手間が省けるのだから、振込手数料くらいこちらで負担します」という売り手側の配慮から生まれたようです。それが一般的になって、振込時に振込手数料を差し引いて振り込みする会社が少なくありません。

ところが、インボイス制度が始まると、この控除した振込手数料が問題となってきます。つまり、振込手数料の消費税のインボイス (適格請求書) をどうするかという問題です。ネットでいろいろ調べていると以下のような記述がありました。

- ① 売り手が振込手数料相当額を値引きしたと考えた場合、売り手が「適格返還請求書」を買い手側に交付しなければなりません。
- ② 売り手が振込手数料相当額を支払手数料として処理 (課税仕入れ) する場合、買い手が金融機関から受領した「振込サービスにかかる適格請求書と立替金精算書」をもらわなければなりません。

え〜〜っ! そんなややこしいことをせないかんの? ということになりそうです。つまり、振込手数料を引かずに振り込んでいただくというのが一番手間がかからない方法となります。本来は請求された金額を値引かずに支払うというのが原則ですので、適切ではない商慣習を改めていくのがいいのではないかと思います。当社では請求書に『誠に恐れ入りますが振込手数料をご負担下さい』の一文を入れることを検討しています。(一丁啮)

### 編集後記

つい先日まで暑い暑いと言っていたかと思うと、急に寒くなってきて、秋を通り越して冬が来てしまいそうな気配です。近年は春と秋が短くなってきていると感じるのは私だけでしょうか。温暖化の影響かと思いますが、四季の良さがだんだん薄れていくのは寂しいものがあります。食欲の秋、秋の夜長……など、いずれ感じられなくなってしまうのでしょうか。